

「反対意見を想定して意見文を書く」

挑戦問題 『相手の意見を変える, ポスターセッションに挑戦しよう。』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働

期待される生徒の変容

2種類の説明文を読むことにより、「反対意見を想定した意見文」の書き方について情報収集し、反対意見を想定すること、小見出しを付けること、ことわざや故事成語を用いることをまとめ、1学年で作った意見文を作成するための「虎の巻」第2弾を追記する。その中で、自分たちの興味のある社会的問題についてのポスターセッションのポスターを完成するために、上記の工夫点を取り入れ、どのような言葉を用いると、聞き手の意見を変えるようなポスターになるか、協働しながら試行錯誤する。

平成29年度の取組より

Before【生徒の振り返りシートより】

- ・自分の必要な資料を集めることができたが、ここから取捨選択することが難しい。相談して決めていきたい。
- ・ことわざをいくつか調べたが、どのように使えば効果的か、よく分からない。
- ・資料を集めた。どのように配置するかも分かったので、実際に配置してみたい。
- ・インタビューしたら、反対意見と賛成意見と半々だった。自分たちの考えの根拠となる資料を集める必要がある。
- ・自分たちの主張の柱になるところに、どのような故事成語が入るか、辞書を使って調べることができた。



After【振り返り】

- ・「救急車は有料化すべきか」について、インターネットでは資料が膨大にあって、他の人を説得できるような資料を探すのがとても大変でした。言葉や資料を効果的に使うことで、人の考えを変えられるということを実感できました。
- ・1年生にポスターセッションをしたので、分かりやすくするために、どうしたら分かりやすくなるか、どうしたら興味を持ってもらえるかを考えてしっかり練ることができました。途中で他の班の人に見てもらって、課題や改善点を見つけられたので、よかったです。
- ・他の班の発表を聞いてとてもびっくりしました。ポスターに付箋を貼っておく等の工夫もテレビみたいでおもしろかったし、英語の先生に実際にインタビューして説得力を増している発表もあって納得することができました。自分たちの班は、故事成語を考えるのがとても大変でした。
- ・「高齢者の運転」について、自分たちは「賛成」の立場だったけど、途中で「反対」の意見の方が分かりやすいのではないかと考えるようになりました。でも、「賛成」と決めて、みんなに納得してもらうための工夫を班で話し合いながら進めることができたと思います。
- ・人を説得させるためには、「話し方」だけではなく、ポスターで使う図表や、タイトル、使っている言葉も重要だということがわかりました。途中で他の班の人から意見をもらったとき、自分たちだけでは気づかない改善点を指摘してもらったので、そこからもっと分かりやすくするために改善することができました。
- ・私はよく「語彙力がない」と言われますが、今回のポスターセッションを通して、表現や言葉の一つ一つにこだわって作ることができました。どうしたら分かりやすくなるかという視点で、表現方法を考えました。完成したときは、達成感がありました。他の班のポスターもいろいろ工夫してあって、すごいと思いました。

班練習の様子



平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・主体的な学びになるよう、身近な社会的問題を自分たちで探し、その課題についての発表にする必要がある。
- ・今回はポスターセッションの実際の様子を動画で見せることは効果的だったが、1年生は今回、聴衆として参加できたので、来年度の実践の時はイメージしやすくなった。